
罪人のできること
DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
行脚堂 presents / X-rated
case of "アリス・シンセシス・サーティ"

罪人のできること



■ Disclaimer ■

今回のアリス本は精神喪失したキリトを連れてルーリッド村の外れにて幽居していた辺りのおはなしになります。
以前「アリスのないしょ」にてキリトの「お世話」をするおはなしを描きましたが今回は「開墾のお手伝い√が無かった分岐での生活費稼ぎ」といった感じになっております。

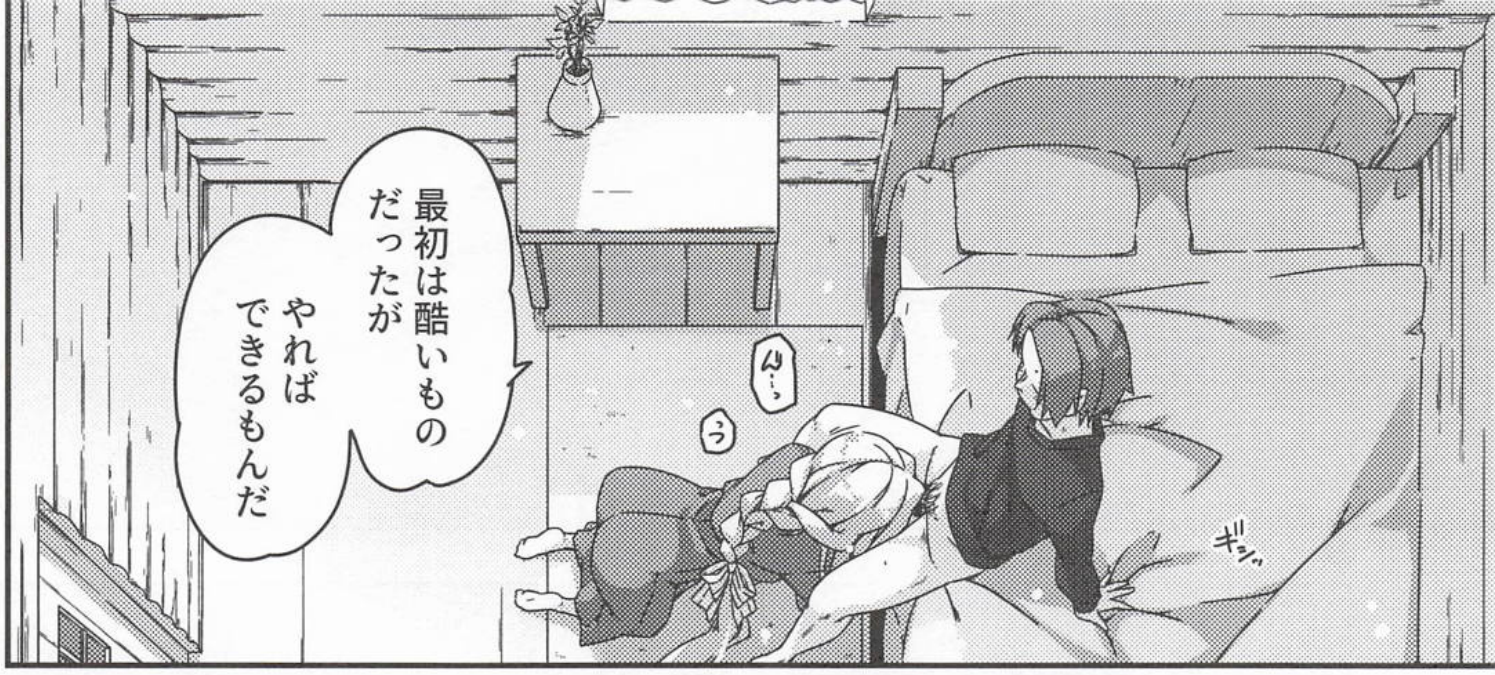
そんな感じで本編どぞ(=ﾟωﾟ)ﾉ




ん…っ
ふっ
つぐ
ぐぷっ
ぶるっ
びくっ
ギッ


んぶっ
んっ
ぢゅぽっ
ぢゅぽっ
――…っ


いいぞ
上手になった
じゃないか
――アリス
ふ…っ
…っ
びくっ
ドロ…


最初は酷いものだったが
やればできるもんだ
ムッ
う
ギシッ

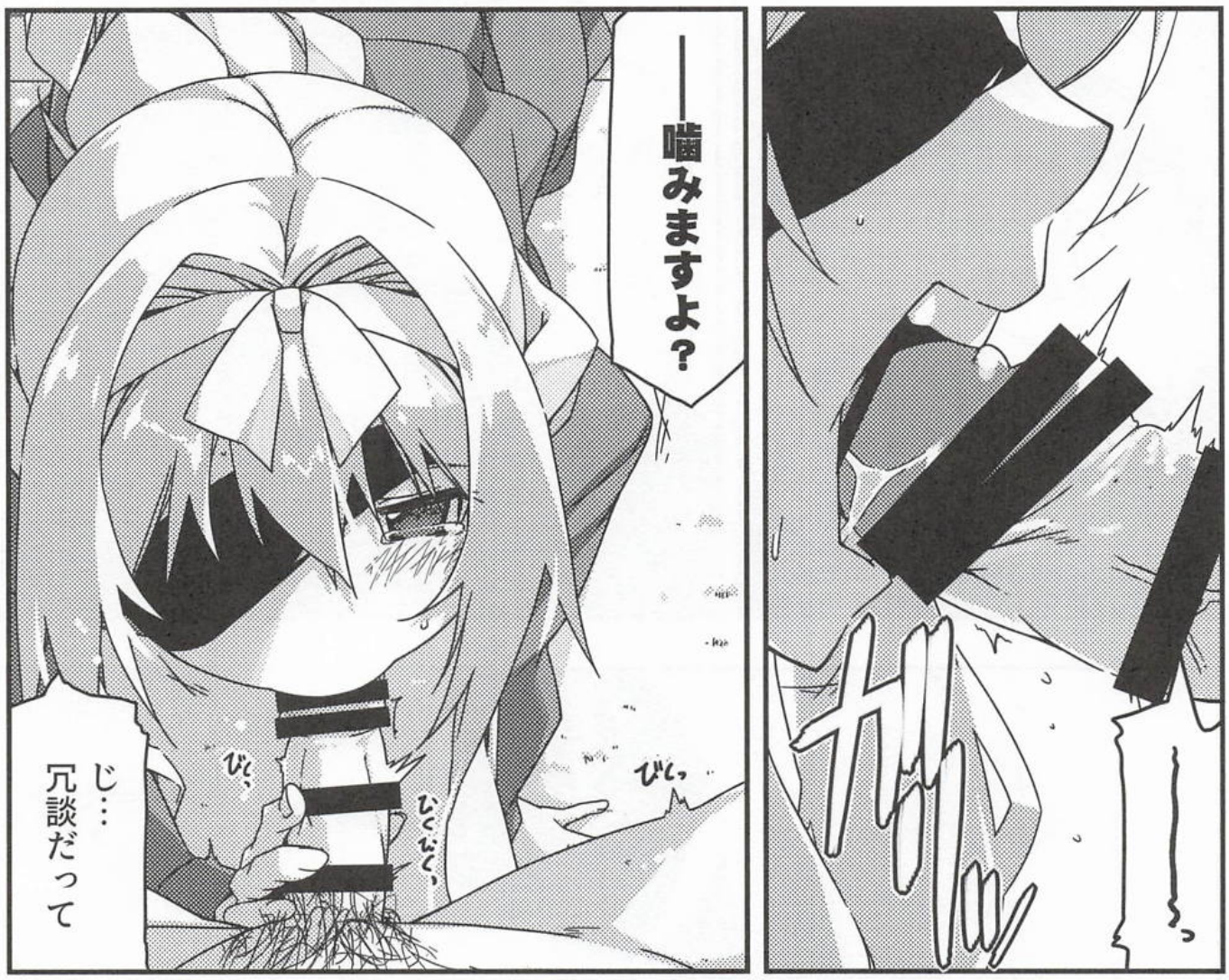

びくっ
他人事のように……
ぬるお


毎度毎度
舐めさせられていれば――っ
ぶるん
れろ
れろ

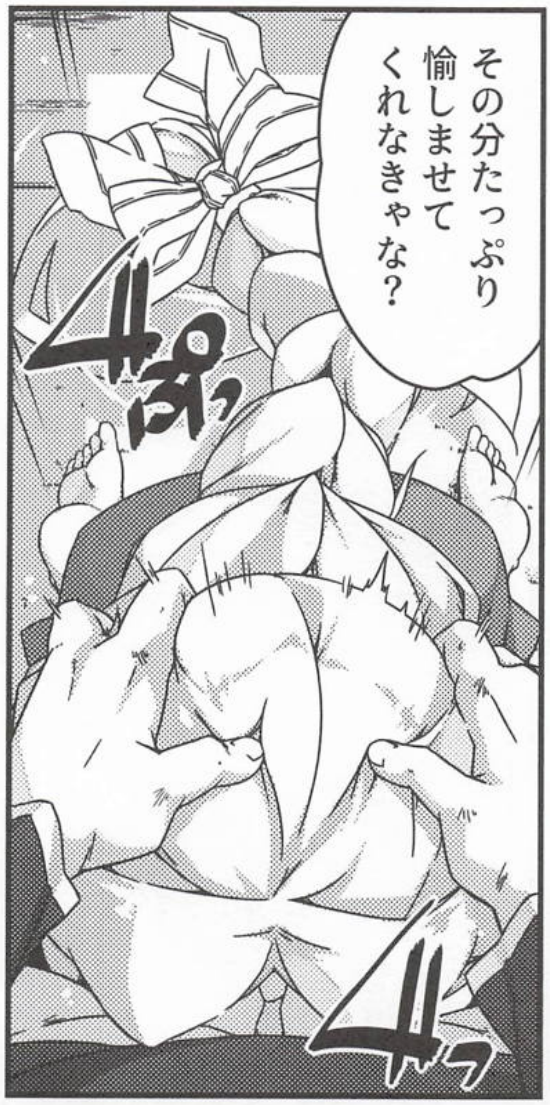

村長も頑固だよな
いくら罪人だからってできる仕事はあるってのに


俺が面倒見てやるからさ
こんなトコに住んでないで村のほうに来いよ
ぷっ
ムッ


あんな男
放っておいてさ


――噛みますよ？
じ…
冗談だって
びくっ
びくびくっ
びくっ

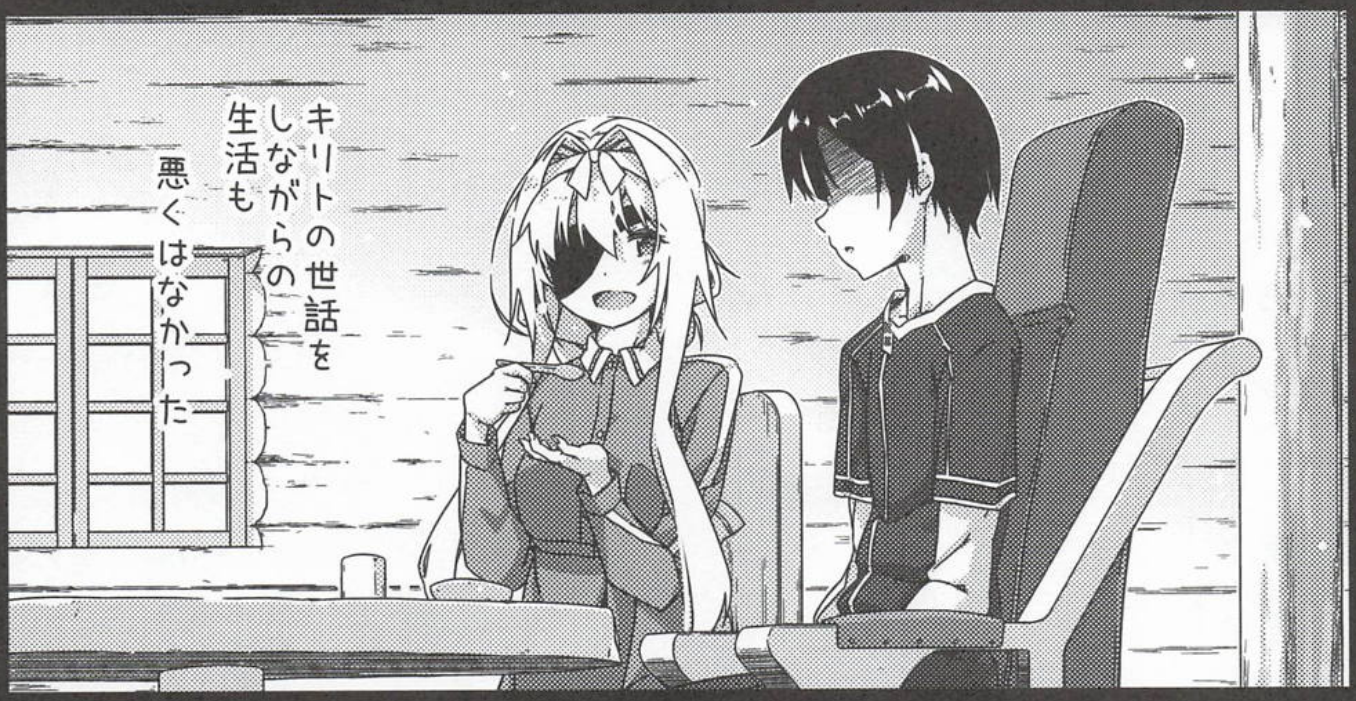

ほら――
続けろよ
――っ
びくっ
ぐぽっ
ぢゅぽっ

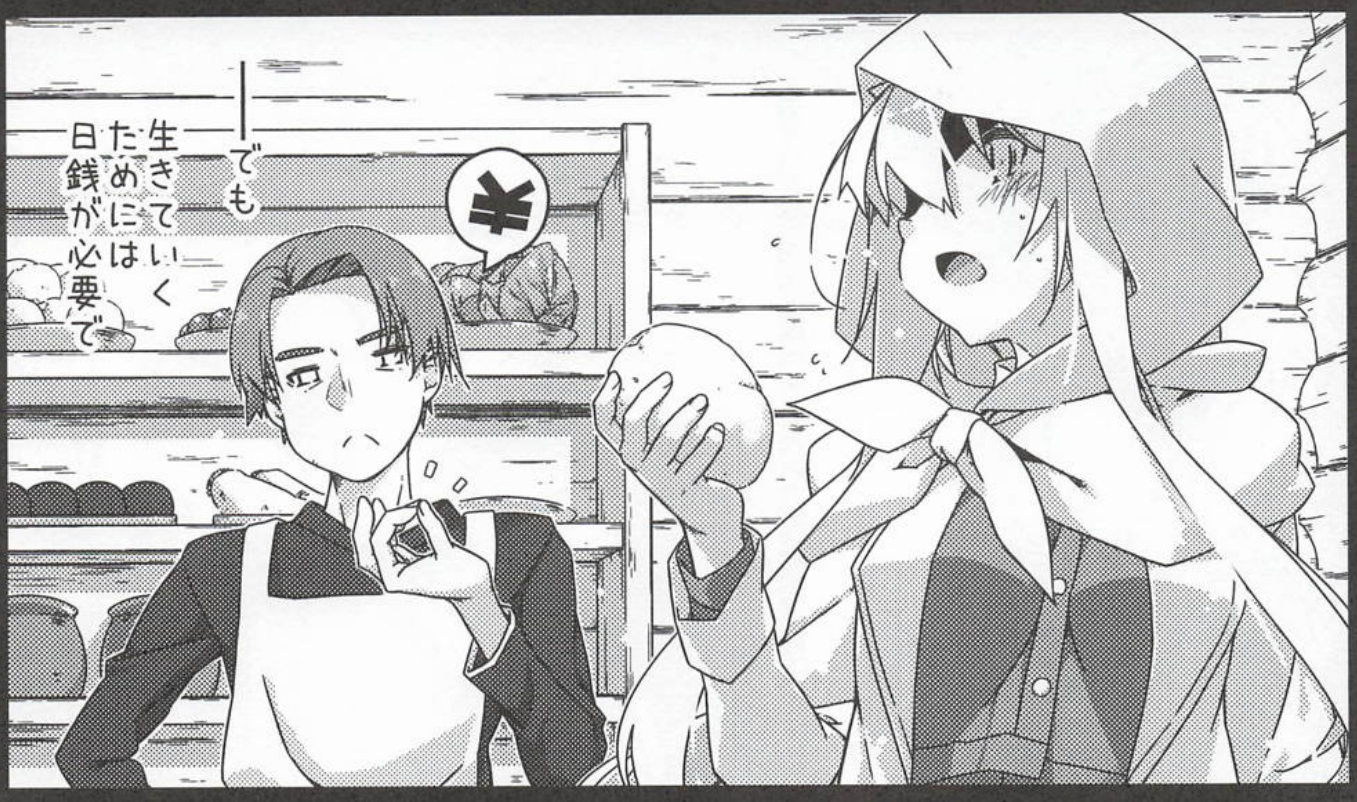

その分たっぷり
愉しませて
くれなきゃな？


んぶっ
んぐ…っ
んっ
ぐぢゅぼっ
ぢゅぼっ
俺だって
罪人に関わる
なんてリスクを
負ってんだ
がくがく


――そう――


セントラル・カテドラルでの
激闘ののち――
私たちは
央都を去り
ルーリッドの
外れに
居を構えた


キリトの世話をしながらの生活も
悪くはなかった


¥
――でも
生きていくためには
日銭が必要で


整合騎士を
名乗れぬ私は
この村においては
ただの罪人であり


そんな私にできることは
——ただこの躰を差し出して
ぐ…っ
もにゅっ
もにゅっ


情けを乞うというのがせいいっぱい
や…あ
そこ…触らないで

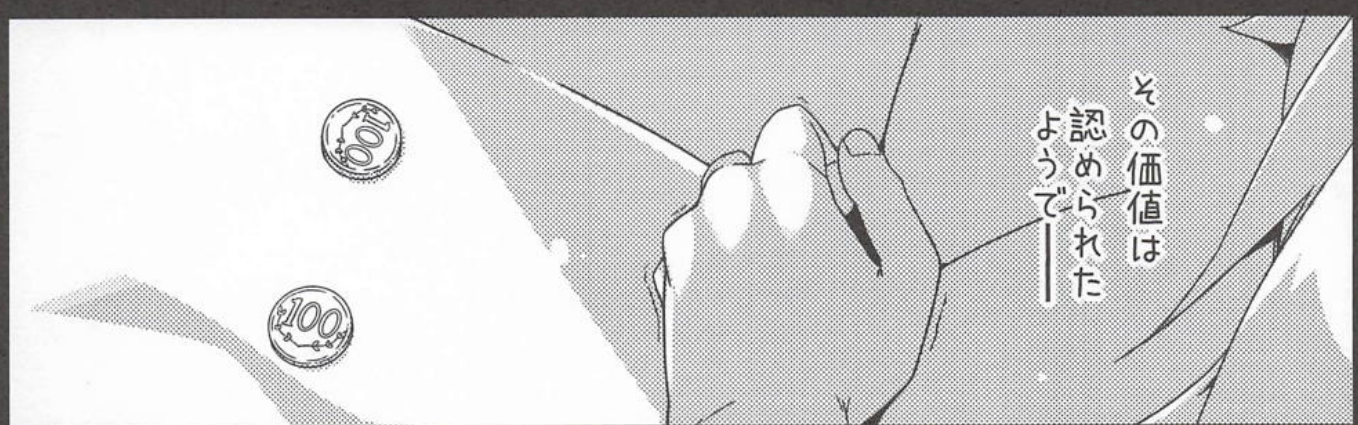

んぐっ
——っ


ぁっ
ガク
ガク
びくん
びく
たぷ
ちゅぷ
ちゅぷ
ぁ♡
はぁ…ぁ
びくっ


ぱんっ
ぐぃっ
ぐぃ…っ
ぷぃ
ガク
ガク
ぱんっ
―それでも


ガクガク
あっ
ナカ…射精てーっ
はぁぁ


はー
ずん
ずんっ
はー…
はー…
女としての手管を知らぬ小娘にも
ぶるっ


その価値は認められたようで――
100
100

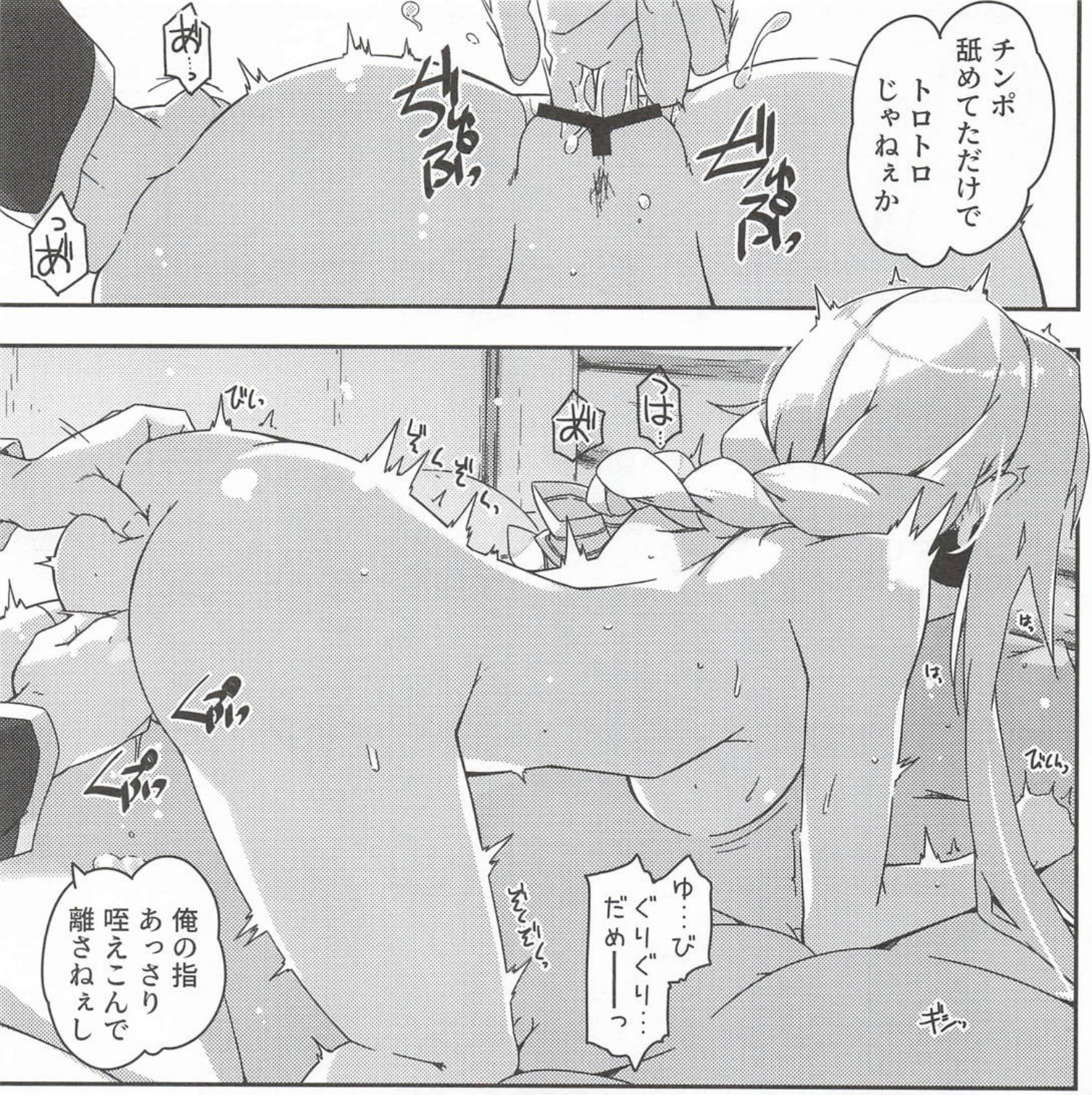

ちゅぽ。
ちゅぽ。
ちゅぽ。
お…っ
イクぞ
イーーっ
びくっ
びくっ
びくっ


こうして
今も
びい
しっかり
飲めよ
これも罰
なんだからな
ぶ
ドロ…
ぐくっ
ん


私は――


なんだ
また大きく
なったか？
し…
知らない…っ
もにゅ
たぷん


そんな…のっ
私は――っ
あの小さかった娘が
どんどんエロい体に
なりやがって
こっちだって――
んんっ


チンポ
舐めてただけで
トロトロ
じゃねぇか
あっ
ちゅぱっ
ぺろっ
あっ
うは…
あ
びくっ
ぐりぐり
ゆ…び
ぐりぐり…
だめ――っ
ぺろっ
ぺろっ
ぎゅっ
俺の指
あっさり
咥えこんで
離さねぇし


は…あっ
ちゃんと罪を
償う気は
あるのか？
どんな罰を
受けるんだ？
――…っ
わたし…は
はっ
はっ
はっ
ぴくっ
ぴくっ
ムぷっ
ムぷっ


お……
お願いします
ギシッ
私の…
罪深き
おまんこを
ぶるっ
おじさま…
のたくましい
おちん…ちんで
カタ
カタ
ぱぁん
貫いて
ください――っ

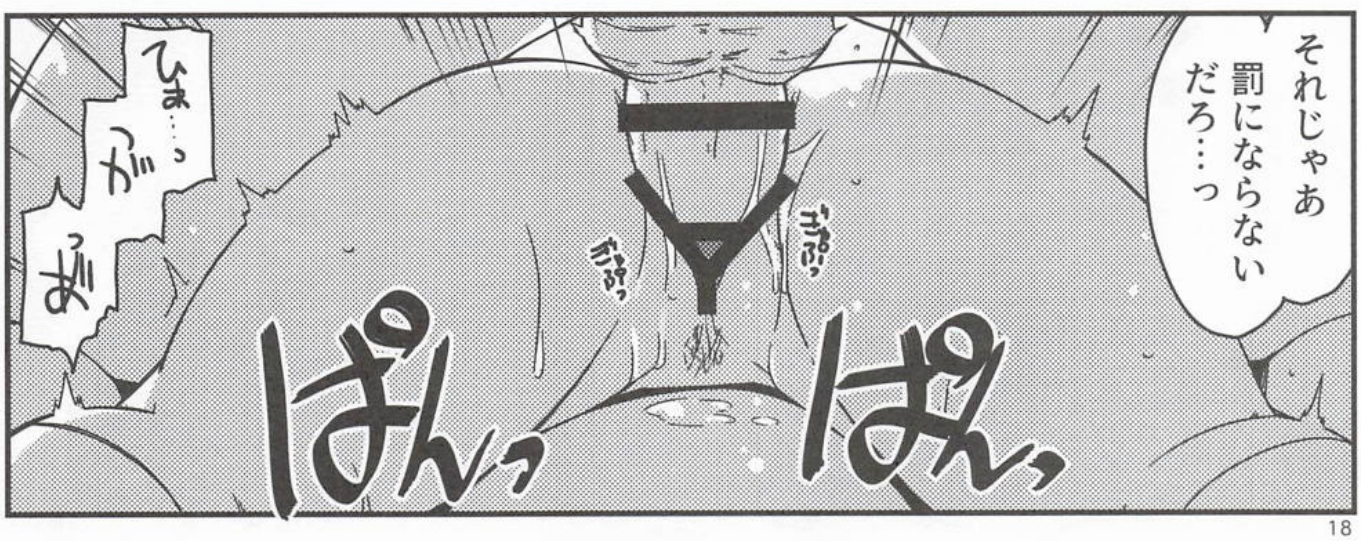




こうして騎士にあるまじき言葉を吐き




もう少し
ゆっくり…っ
――っ
駄目
びくん
ぱんっ
ぱんっ
ふっ
ふっ

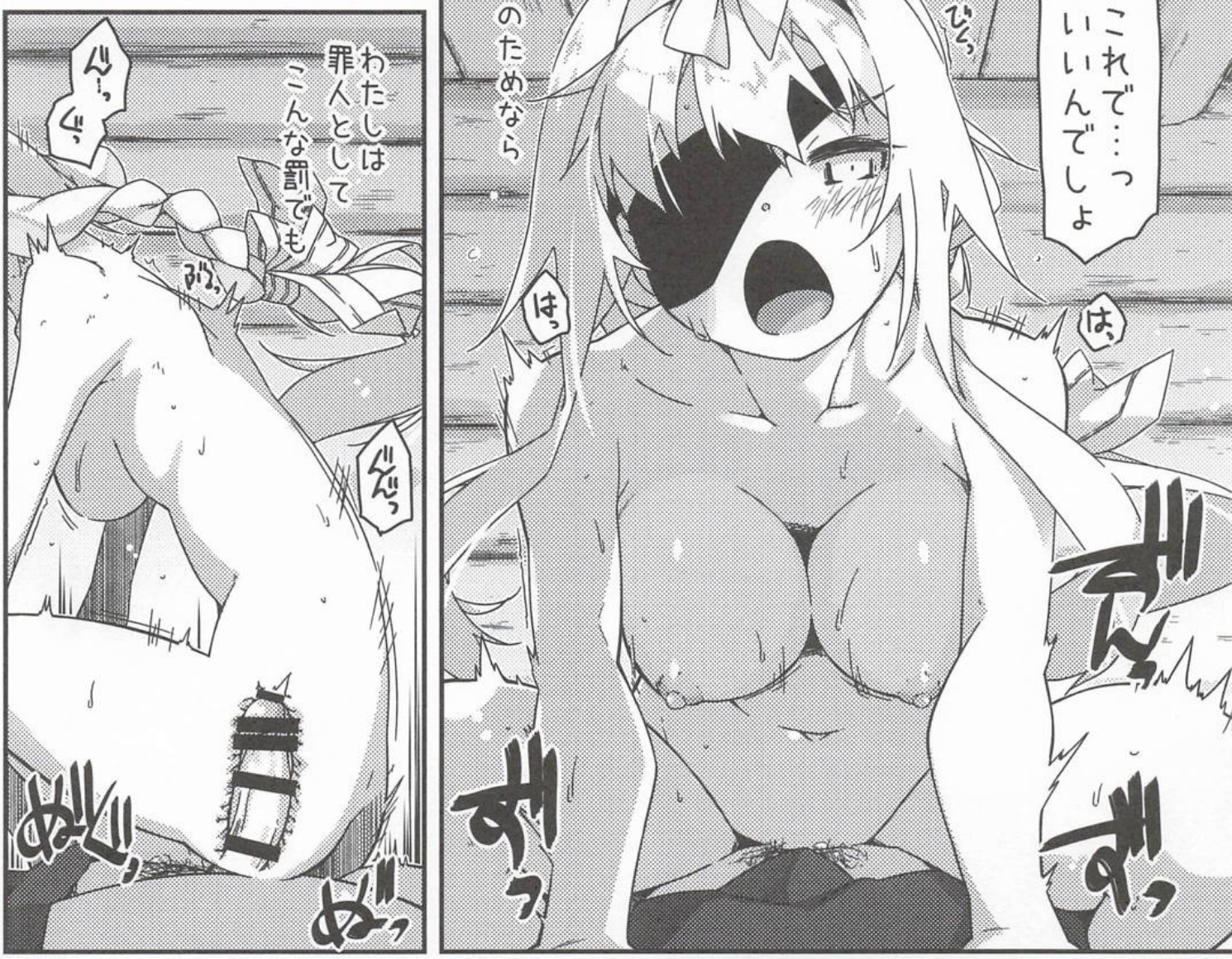

それじゃあ
罰にならない
だろ…っ
ぱんっ
ぱんっ
ひぁ…っ
がっ
ぁ

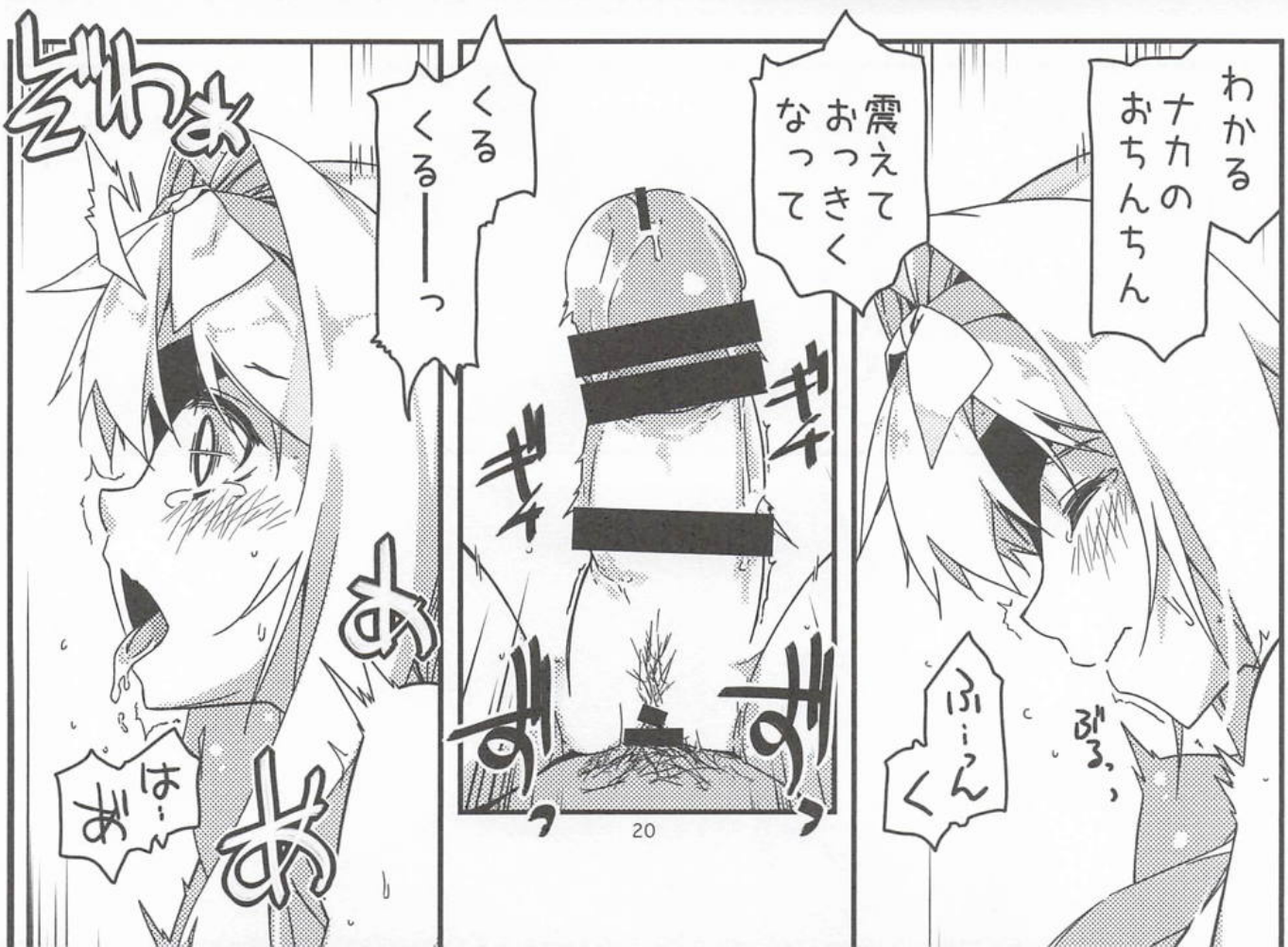

女としての
手管を学び
お…
やぁ…っ
がくがく
ずんっ
ずんっ
ずっ
はぁ…っ
がくっ
ほら
もっとナカを
合わせて
躰を使い
罪人らしく
赦しを乞う


ぶるっ
つぷ…
ふ…っ
んぐっ
つぐ
いいぞ…っ
もっと俺を
気持ちよく
させるんだ
ずんっ
ずっ
ずっ
ぐぐっ
ぢゅぷ
ぢゅぷ


でないと
何時まで
経っても
終わらないぞ
はっ
言われず
とも…っ
はっ
本当に
こんなことが
私への
罰だとしても

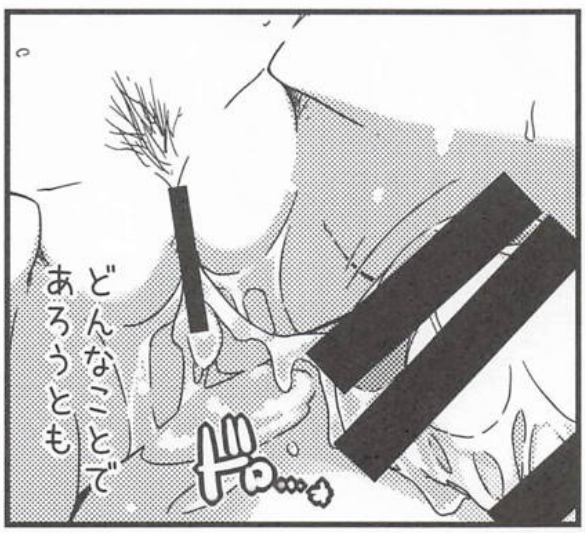

キリトの――
キリトの
ためなら


これで…っ
いいんでしょ
そのためなら
びくっ
はっ
はっ
わたしは
罪人として
こんな罰でも
ぐぐっ
ぐっ
ぶるっ
ぬぬぬ
ぬっ


わかる
ナカの
おちんちん
震えて
おっきく
なって
ぶるっ
ふ…ん
く
くる
くる——っ
そわそわ
あ
あ
は…あ


だして…っ
射精せーっ
わたしの…膣内にだ――…
あ、射精てる…っ
ナカにあつい…の、
ガク
ガク
びくん、
びくんっ
びゅっ!
びゅっ
びゅっ!
びゅっ!
びゅっ!

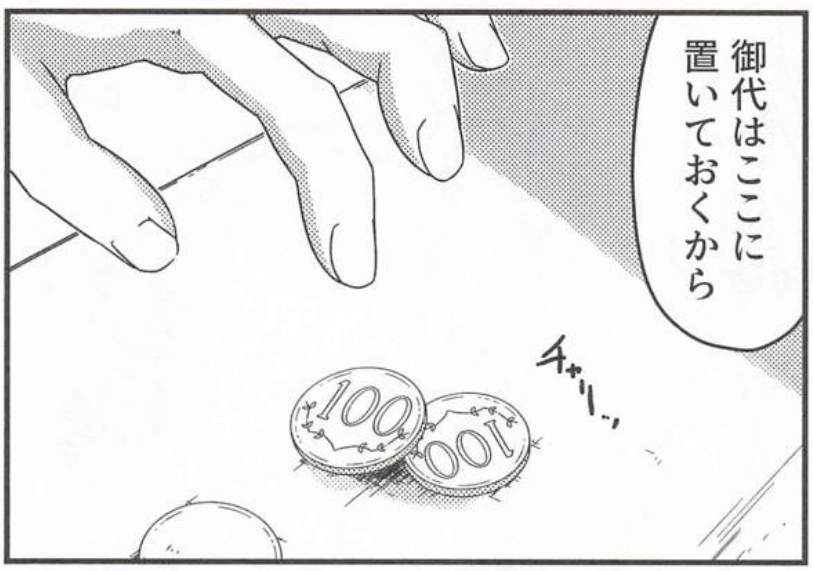

はっ
はーっ
はーっ
ぶるっっ
うへぇ
すっげぇ
射精たわ…
どぴゅ
びくっ


どんなことであろうとも
ドロ…


私は……っ
は…


相変わらず
言葉遣いは
硬いけど
は、
はーっ
ホント
巧くなったな
アリスちゃん♪
びくっ
ぶるっっ


じゃあ
俺は村に戻るわ
ぶるっ


御代はここに置いておくから
チャリ…
100
100


また今度――な？
は！


この私の罪を背負って


EOE



■どうにもアリシゼーションでの
キリトとの接点が短すぎて
ルーリッドでの介護期間ばかり
思いついてしまうのですが
すでに一度「アリスのないしょ」で
描いちゃってるのが…


■そのまま直球で「ないしょ2」を
続けてもいいかな一思いつつ…
はっ
あっ♡
あ♡
はっ
キリトの
おちんちん
ビクビク
――って♡
応えて
くれてる…っ♡
キリト…お♡
キリト…っ♡
もっと
もっと私を
はっ


■ユナリン方面に進むなら猫妖精族スタイル…ってこれもシノのんやユウキでやってるという悩みが気にせず描いてしまえばええのか？
キリトっ
もっと
はっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
もっと私に触れて…っ
私を求めて――っ
ぞくぞくっ
ぞくっ
ぞくぞくっ
嬉しいのっ
もっともっと…お
ぶるっ
じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ
キリトがキリトから
私を…っ

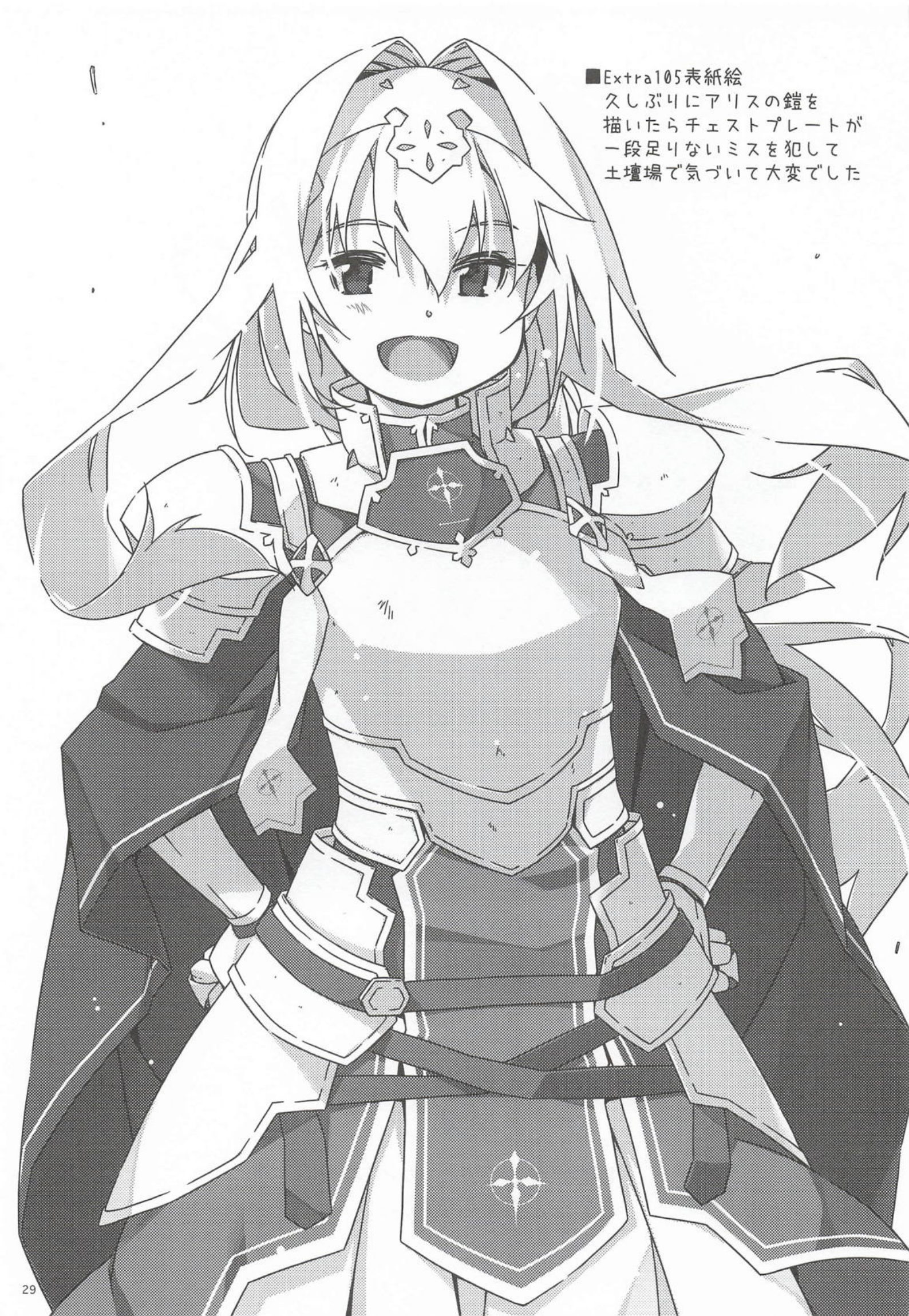

■あとはこう…ツーベルクであった頃の
シンセサイズされる前に懲罰として…とか
定番な感じしますが
あまり酷いことしたくないというのもあって
わ…わたしは
規則を破った
悪い子…です
どうか…
おしおきを…
は
はっ
——っ
ぶるっ
びくんっ
あ♡
あ
ぎゅぽっ
ぎゅぽっ
ぎゅぽっ
ごめんなさいっ
ごめん…な
うぁ
あ…っ

■結局どのパターンでもないトコに行きましたね

■スカートのなか、素肌に直接脛当てを
着けてはないだろうとしてズボン履いた
上で脛当てしてるとしけーさん当初は
想像してたのですが
実際はオーバーニーの上と知った時の
衝撃ときたら(((；°Д°)))

■んでこれは白スカートと
前垂れ部分だけパージしてみた
趣味絵(=°ω°)





■Extra105表紙絵
久しぶりにアリスの鎧を
描いたらチェストプレートが
一段足りないミスを犯して
土壇場で気づいて大変でした



罪人のできること

発行日
2026年08月16日(初版発行)

著作・発行
しけー・行脚堂
shikei@angyadow.com
https://angyadow.com

印刷所
サンライズパブリケーション株式会社

禁無断複製/禁無断転載
ネットワークでの共有等もご遠慮下さい

Fan Fiction of "ソードアート・オンライン"
case of "アリス・シンセシス・サーティ"
行脚堂 presents
X-rated

罪人のできること